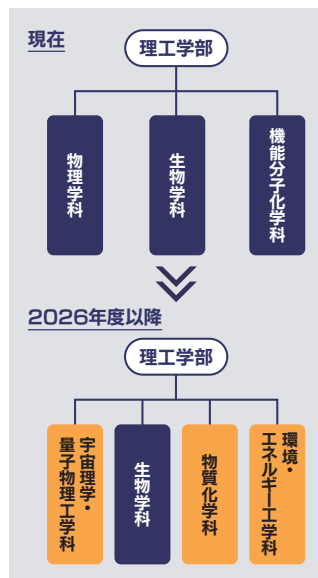




理工学部の進化型理系構想



2027年に完成予定の新理系棟の完成イメージ図。3・4階は「環境・エネルギー工学科」の専用フロア、1・2階は「Science Junction」と呼ばれる共用スペースになる。この共用スペースでは、学部や学科の枠を超えて、理工学部や知能情報学部のさまざまな学生が共に学べる環境が整えられる。これにより、学生同士の交流や学びの相乗効果が生まれ、新たなアイデアや価値の創出が期待される。

や行動力を養います。なお、短期留学1回分の参加費用は免除されます。この留学制度に対して、学生からは

「ダブル留学に魅力を感じSTAGEへの進学を決めた。短期留学ではインドネシアでボランティア活動

行い、現在はカナダへの長期留学を予定している。」短期留学はドイツで政治経済を学び、長期留学はアメリカでインターンに挑戦したい。」などといった声が寄せられています。超少人数でのSTAGEゼミと幅広い知識の学習

STAGEの2つ目の特長は、超少人数制であることです。メディアムサイズの総合大学である甲南大学の特色の一つに「学生と教員の距離が近いこと」が挙げられますが、STAGEでも1学年25人の学生に対し13人の専任教員がチームで指導にあたります。学生からは「教員との距離がとても近く、上辺だけの付き合いではない深い関係が築ける」と評判です。

4年間続く「STAGE演習(ゼミ)」では、SDGs(持続可能な開発目標)や地域創生、異文化間コミュニケーション、グローバルビジネス、グローバルイシューズといった研究テーマに取り組み、国際社会や地域社会の課題解決に必要な教養を修得します。また、他の専門科目においても、国際理解をはじめ、経済学や経営学、法学・政治学といった社会科学とデータサイエンス・AIなどの幅広い知識を学び、プロジェクト型学習を通じて実践を重ねながら、政策・企画立案力を磨いていきます。STAGEの学びのなかで、実際に食品ロスの課題解決に取り組む学生たちは、繰り返し使用で

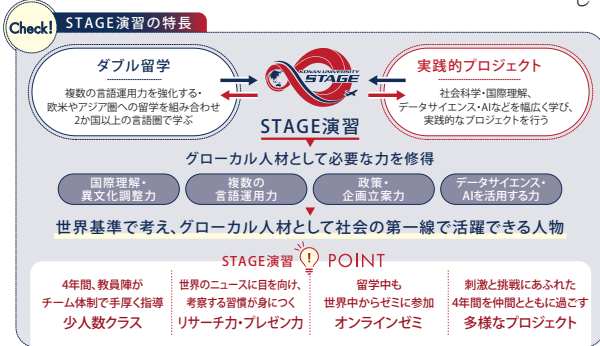
STAGE専用施設で仲間と切磋琢磨し国際性を高める

STAGEの3つ目の特長は、STAGE専用の最新施設です。海外大学とのオンライン授業(Collaborative Online International Learning)を可能にする大型LEDモニターを備えた「Global Connecting Passage」では、STAGE演習の発表やイベントなどが実施されています。さらに、STAGE生の学びの拠点「STAGELOUNGE」には、交流ラウンジ、自主学習スペース、プロジェクトルームが併設されており、STAGEでの学びを深める学習環境が整っています。

グローバル教養学環STAGEでは多様な学びが展開されており、世界と地域の課題を多様な視点から捉え、文化や言葉の壁を超えて人々と協働できる「グローバル人材」の育成を目指しています。



インドネシアでの短期留学



これまでもすべての学部において、人物教育を重視し、学生の可能性を無限大に伸ばす多彩なプログラム「彩り教育」を進めてきた甲南大学は、多方面からの改革を推進し、未来を担う人材育成に努めています。



国際都市・神戸を拠点に、8学部14学科1学環と大学院4研究科に約9000人の学生を擁する甲南大学は、文理領域の学部を擁し、学際的・横断的教育を展開する“メディアムサイズの”私立総合大学です。実業界や社会奉仕事業、政界など多分野で活躍した創立者・平生鈞三郎により1919年に開学して以来百余年、建学の精神に掲げられた「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる人物教育の率先」は今日もなお脈々と受け継がれています。

課題解決型のイノベーション人材を輩出することを目指し、2024年に新設した「グローバル教養学環 STAGE」に続き、2026年4月には「KONAN進化型理系」を始動するなど、さまざまな改革を推進しています。

甲南大学

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 アドミッションセンター TEL 078-431-4341 (大代表) <https://www.konan-u.ac.jp>

KONAN進化型理系の推進とグローバル教養学環による教育で未来を担う人材育成を革新的に進める“メディアムサイズの総合大学”

高度理系人材育成を目指し、理工学部を大規模改革

いま世界中で、社会課題の解決や産業の変革に寄与する優れたイノベーション人材が求められています。こうした社会の要請に応え、高い成長性と人材ニーズが見込まれている分野での研究・教育活動を強化し、高度な理系人材を輩出するため、甲南大学では「KONAN進化型理系」を始動。理系3学部における学科の新設・改組など先導的な教育改革に取り組んでいます。

「KONAN進化型理系」の中心的存在である理工学部では、2026年4月にグリーントランスフォーメーション(GX)に寄与できる人材を育てる「環境・エネルギー工学科」を設置します。また、「物理学科」を「宇宙理系・量子物理工学科」に、「機能分子化学科」は「物質化学科」にリニューアル。この3学科に既存の「生物学科」と合わせて、理工学部は4学科体制となります。それぞれの専門領域で理学(基礎)十工学(応用)の学びを通じ、

研究開発に貢献できる人物の育成を強化します。

デジタル、医療、創薬、先端材料など成長が期待される分野を強化

知能情報学部では、2024年4月に甲南大学デジタルツイン研究所を設置しました。同研究所ではAI・VR(仮想現実)・ロボット研究を行う「未来創造型研究」と、運送業界の人手不足といった社会課題解決のための「社会実装型研究」を展開しています。

生物学と化学の融合分野を幅広く学ぶことのできるフロンティアサイエンス学部は、医療機関や研究機関企業が集積する神戸ポートアイランドにあります。この立地を活かし、近隣の企業・団体と交流しながら研究活動を展開する「研究開発リサーチ養成プログラム」を2026年度から開始します。

また、研究開発職を目指す「先端科学コース」では、創薬、医療、先端材料、食品・化粧品という4つのサブコースも設置します。産学連携研究の拠点でもある「先端生命工学研究科」との連携もさらに強化することで、成長が期待される分野の教育研究を一層推進し、甲南大学ならではの充実した学びを提供します。環境面での進化の核となるのが、「新理系棟」です。2027年には岡本キャンパス西・北校地が、学部生・大学院生・教職員が集い、憩い、交流するサイエンスゾーンとして生

まれ変わります。

2回の留学が必須の「グローバル教養学環」

甲南大学では、次の100年を見据えて新たな伝統を創造するため、2021年度に「KONAN U. VISION 2025」を策定。グローバル教育の新たな展開として、2024年度に「グローバル教養学環 STAGE」(英語名称: Special Track for Accelerated Global Education)を開始させました。

STAGEは「国際化が進む社会で活躍する人材になりたい」「経済格差や貧困問題など世界的な課題を解決したい」「2回の留学経験をビジネスの場で生かしたい」といったグローバルキャリアを志す学生のニーズに応えるため甲南大学がたどり着いた、グローバル教養学位プログラムです。従来の学部やセンターなどの枠組みを超えて編成された教育組織である「学環」が提供するこのプログラムでは、学生が複数言語の運用力や異文化調整力、データサイエンス・AI活用力を身につけ、国内外で活躍できる「グローバル人材」に成長できるよう支援しています。

STAGEの特長にまず挙げられるのは、複数言語圏への「ダブル留学」を卒業要件としていることです。欧米やアジア圏などから留学先を組み合わせて、短期留学と長期留学を体験することで、語学力だけではなく国際的視野も磨き、世界基準の思考